



議会だより

かつらぎ

Gikai 2023.2 (令和5年)

発行／和歌山県かつらぎ町議会
編集／議会だより編集特別委員会

96号



新春かつらぎ郷土カルタ競技会
(笠田ふるさと交流館)

主な内容

財政改善 基金13.8億円 2ページ

意見交換から課題も希望も 議員と自治区長の意見交換会 14ページ

一般質問 町民のおもいを届ける60分 17ページ

令和3年度決算審査特別委員会 委員長報告

財政改善 基金13.8億円 経常収支比率91.3%

令和3年度の一般会計決算および各特別会計決算ならびに水道事業会計決算、下水道事業会計決算は、付託された決算審査特別委員会で6日間にわたって審査され、本会議で委員長報告が行われた。一般会計と国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、水道事業会計は賛成多数で認定された。これ以外の特別会計と下水道事業会計は全員賛成で認定された。2ページから6ページで令和3年度決算を特集する。



決算審査特別委員会
委員長 松岡 宏行

一般会計決算 の特徴

令和3年度決算では、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策事業として23事業10億3378万円の対策が実施された。財源は国や県の支出金等が9億9984万円で一般財源は3394万円。

財源構成は、町税等による自主財源が28.8%で前年度より1.3%増加した。*経常収支比率は、91.3%と改善され、*財政調整基金に5億5406万円積み立て、残高は13億8843万円となった。

財政状況は、交付税の減少が見込まれる中、過疎対策事業債を活用し公共投資を抑制せずに運営してきたため、毎年約14億円の公債費償還が必要であり、財政硬直化の一因となっている。

一般会計における 主な指摘事項

小規模の こども園を

多様な子どもたちに個性豊かな保育ができるよう、さらなる保育の充実を図るとともに、小規模のこども園設置を検討されたい。

起業支援の充実を

申請者のために単年度補助への改善は評価できる。今後も支援事業者の経営状況や経緯も確認し、定住促進と産業活性化につながるよう推進されたい。

地域公共交通の 充実を

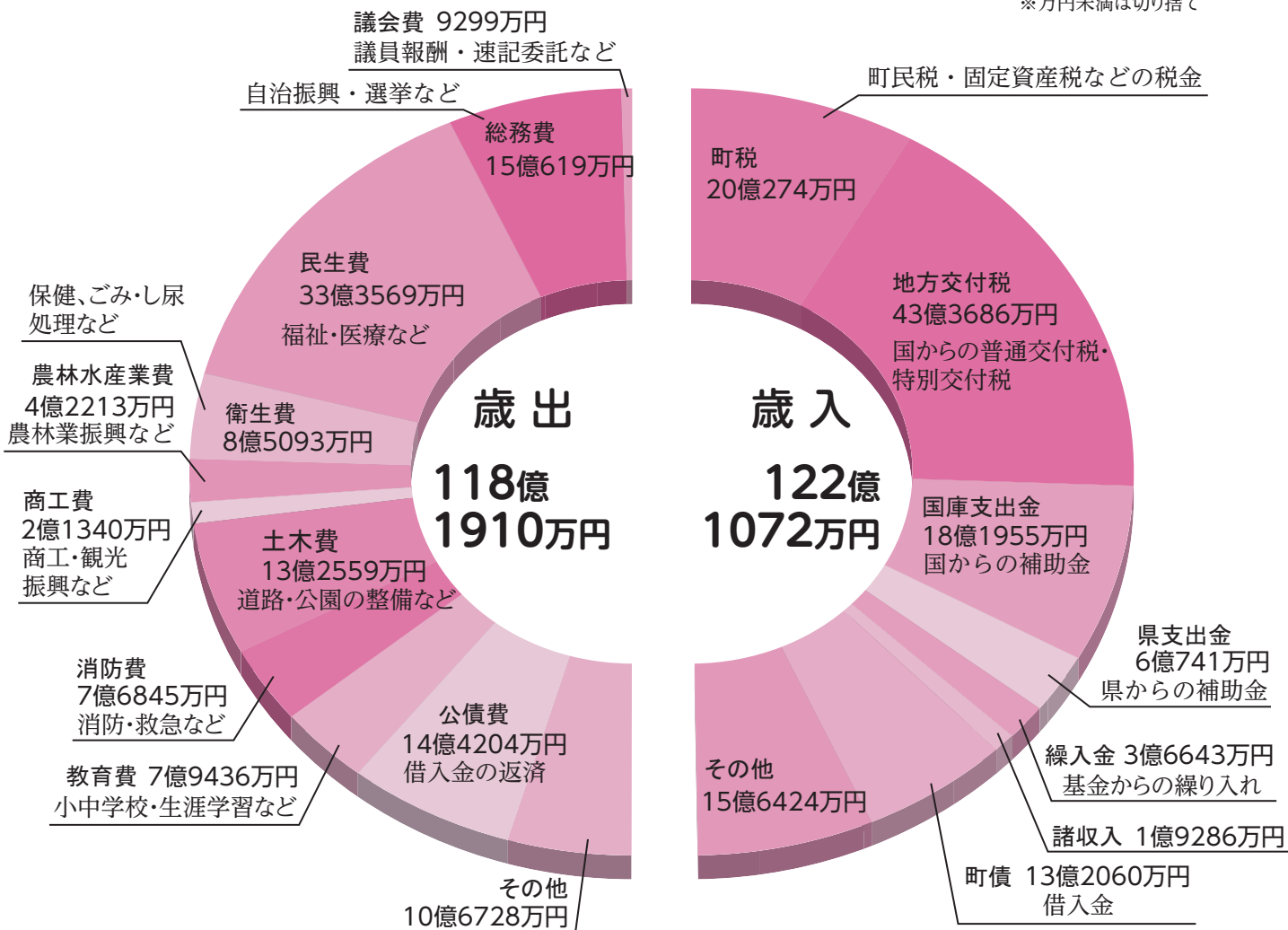
バス停に行けない人や、高齢化に伴い免許証を返納した人など、交通弱者に対する実態調査や実証実験の実施を求める。

パークゴルフ場の 活用を

かつらぎ西部公園管理事業は、パークゴルフ場とその周辺整備が進む中、広報活動などの推進とともに、利用者にとって利用しやすい仕組みの再検討を求める。子どもたちを含む若い世代の利用者や町内利用者の来場促進に努め、地域交流施設の拠点として、また住民の健康増進を図るための施設として運営されたい。

令和3年度一般会計 決算の内訳

※万円未満は切り捨て



※経常収支比率とは
家計に例えると生活費など毎月固定の支払いが収入に占める割合で、この比率が低いほど臨時的な支出にお金を回す余裕があることを表す。

※財政調整基金とは
景気悪化による税収減、災害発生などに備えるためなどの町の貯金。



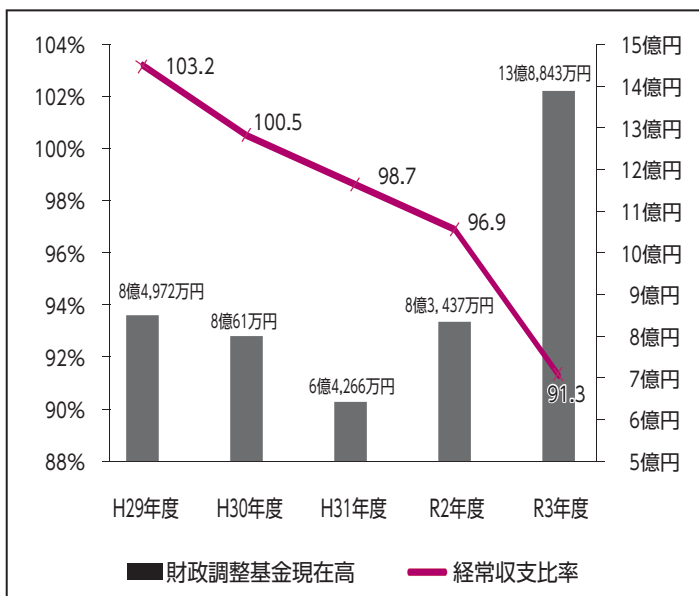
財政状況回復に拍手

財政状況の回復に拍手。前例にとらわれずに費用対効果を吟味し、一層の財政健全化と町民福祉の向上を熱望します。

おくだ しゅうじ
大谷 奥田 修二さん



財政改善の推移



令和3年度 決算

注目の 目玉事業

子育て世帯等 臨時特別支援事業

子ども1人につき10万円支給

2億
1376
万円



イメージ写真

子育て世帯生活支援特別給付金

その他の世帯分

児童1人当たり一律5万円支給

1237
万円



イメージ写真

ひとり親世帯分

児童1人当たり一律5万円給付
(児童扶養手当受給世帯)

31
万円



イメージ写真

中学校トイレ 改修事業

笠田・妙寺中学校トイレを
洋式化へ

3779
万円



学童保育施設 整備事業

笠田学童保育施設を新築

1億
1104
万円



かつらぎ公園 遊具移設事業

かつらぎ公園に花園より
木製遊具を2基移設

555
万円



かつらぎ西部公園 整備事業

パークゴルフ場南側
18ホール完成

1億
3626
万円



志賀地域交流 センター整備事業

地域コミュニティ活動の
拠点となる施設(設計業務委託)

322
万円



元 志賀ふれあい会館

新城・花園地区 光ファイバ網整備事業

ブロードバンドサービスが
利用可能に

1億
9119
万円



コミュニティバス 運行事業

コミュニティバス3コース
デマンド型乗合タクシー5ルート

3121
万円



証明書コンビニ交付 サービス事業

コンビニなどで証明書等の
受け取りが可能に

803
万円



決算審査の意見 実現を求める

委員長報告に対する

質疑

小規模こども園の設置を

概要

大規模こども園が2園運営されているが、多様な子どもたちの保育のために、小規模こども園の設置を求めてきた。

問

小規模こども園の設置についての議論は。

委員長 子どもたちの個性を保ちながら保育ができるように、小規模こども園の設置を議論し指摘した。
障害を持つ子どもが降



三谷こども園



佐野こども園

園後、保護者の就労時間内に通園療育を受けることができない並行保育の議論もあった。教育長は「強く感じているので検討に入っていきたい」と答弁があった。

多様な交通手段の整備を

概要

議会は以前から、住民の移動手段として、家から目的地まで輸送する（ドア・ツー・ドア）乗合タクシーの導入などを求めてきた。

問

ドア・ツー・ドアの乗合タクシーは、路線バスと同じで地域公共交通



デマンドタクシー

通だ。どんな議論があったのか。

委員長 いろいろな状況の中で選択できる手段を整備すべきということ。

花園地域の施設の連携を

概要

花園地域には、委託している5カ所の宿泊施設やキャンプ場、指定管理の「花園の里」がある。連携について指摘した。

問

委託や指定管理の施設に対し、各施設が集まり協議の場の調整を担



花園BASE中南キャンプ
(中南森林公園)

当課に求めているが。
委員長 各施設が連携することで、花園全体を盛り上げることになる。もっと関係者が集まって議論をすべきではないかということ。

討論

賛否が分かれる

《反対》 東芝弘明議員

無批判にデジタル化に未来があるという姿勢を示し前のめりだ。これには批判的視点を求める。新しい公共には住民主権からの検討が必要。降格人事と受け止められることがあり、懸念の度合いを引き上げる必要がある。

一般会計

《賛成》 新堀行雄議員

新型コロナウイルス対策として10億3378万6000円の予算が生まれ、早い対応で対策を講じた。今後も安定した行財政運営と住民福祉の維持・向上に全力で取り組んでいただきたい。

《反対》 東芝弘明議員

和歌山県内の保険税を統一するのは乱暴。医療機関の少ない地域は、1人当たりの医療費も小さい。保険税の統一は、医療給付と保険税との関係を度外視したものになる。自主的な態度の確立を求めている。

国民健康 保険事業 特別会計

《賛成》 藤本憲一議員

平成30年度から県域化されている事業である。収納率は96・1%であり、歳入歳出いずれも適切な予算執行が行われていた。さらに基金残高は、前年度より1900万円増加し、2億5280万円となった。

《反対》 東芝弘明議員

後期高齢者医療は、どんなに長く存在しようが、定着しようが、年齢で区別する諸外国には全く例がない究極の差別医療制度。この制度の廃止と介護保険制度の改善なしに日本の高齢者は安心して生きられない。

後期高齢者 医療事業 特別会計

《賛成》 大原清明議員

制度周知と収入確保に努め、予算執行は適正に行われている。さらに進む高齢化社会に対し、高齢者が安心して医療を受診できる、安定的で恒久的な制度の継続を願う。

《反対》 東芝弘明議員

簡易水道と飲料水供給施設に対する自治体の負担の在り方を検討し、上水道の黒字が他の水道の補填になるようなことは、断じて避けるべき。

水道事業会計

《賛成》 藤本憲一議員

当年度純利益は3371万円で、安定した運営状況である。有収率は減免制度により減少した。しかし減免分を加えての有収率は、前年度同様である。漏水点検や老朽管の更新を計画的に実施していることは評価できる。

賛否が分かれた決算は9会計中4会計

会計名	議員名 結果	溝北	松岡	東芝	大原	浦中	新堀	藤本	中谷	羽根	滝ノ上	山下	表具	大山
一般会計	11対1で認定	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計	11対1で認定	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療事業特別会計	11対1で認定	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計	11対1で認定	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 溝北好一議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対

10月会議 11月会議

10月会議(10/25~27)	
専決処分	1件
補正予算	4件
決算	9件
事件議決	1件

11月会議(11/8)	
補正予算	1件
条例	1件

10月会議、11月会議では、かつらぎ西パーキングエリア地域振興施設に関する条例改正と、一般会計をはじめとする各会計の補正予算などを審議、可決した。

京奈和自動車道かつらぎ西パーキングエリア地域振興施設設置及び管理に関する条例の一部改正
一般会計補正予算



道の駅かつらぎ西地域振興施設

売場を拡張し販売増加へ

概要

京奈和自動車道かつらぎ西パーキングエリア地域振興施設は、基金を活用して、中庭のイベント広場を廃止し、店舗面積を拡張する。改修工事を行い出荷者の販売額増加と、利用者の利便性の向上を図る。



道の駅かつらぎ西
さかい ひろつぐ
酒井 弘次 支配人

笑顔あふれる売場
長年の願いでした売場拡張工事に感謝し、お客様出品者様従業員の皆様が笑顔あふれる売場を目指します。

問 工事費の財源となる基金の内容は。

産業観光課長 指定管理者「まちづくりかつらぎ」からの寄附金で、平成28年度から令和2年度までの、積立金と利息合わせて4508万7263円を改修工事に活用。
町長 指定管理者が利益の中から、施設改修を視野に入れた寄附金による基金で、一般会計に負担なく施設改修できる方法は賛同できる。

避難所に発電機と蓄電池を整備

概要

令和4年4月会議では、災害時に携帯電話の充電に使用する簡易発電機500台を購入する予算に対し、改善を求める質疑が集中し、町当局は再度検証することになっていた。

問 使い捨て簡易発電機の購入が、発電機・蓄電池の購入に変化したのはなぜか。

討、LPガス発電機とポータブル電源装置の備品購入となった。

危機管理課長 4月会議で議員から指摘を受け、検討が必要ということになったのは事実。使い捨て簡易発電機の導入だけでは不十分となり、換気対策備品と発電装置を検討

問 購入する発電機は電気製品用として使用し、蓄電池はスマートフォン等の充電用か。

危機管理課長 LPガス発電機は室外に設置し扇風機などに使用。蓄電池は室内の電化製品や、携帯電話・タブレットなどの充電と電灯器等に利用する。



LPガス発電機



蓄電池

農業委員会

推進委員の増員実現

12月会議では、副町長の選任、固定資産評価審査委員会委員の選任、志賀地域交流センター設置及び管理に関する条例の制定、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定等や一般会計と各会計の補正予算などを審議し、全員賛成で可決した。また、個人情報保護に関する法律施行条例制定は、賛成多数で可決した。

12月会議(12/1~20)	
専決処分	1件
人事	3件
補正予算	6件
条例	5件
請願	1件
意見書	1件
一般質問	7人

12月会議

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の一部改正

令和5年7月から1人増員

概要

農業委員会の案件に対する意見をもらうため、地域ごとに農業委員と農地利用最適化推進委員が任命されている。今回、案件数の多い笠田中・笠田東・佐野・広浦地域担当の推進委員が現在3人のところ、令和5年7月20日から1人増員して4人にし、1人当たりの受け持ち件数を減らす。

問 農業委員、農地利用最適化推進委員は、12

地区に分かれている中で、大きく地区別にどのような業務が多いのか。
産業観光課長 平野部では、太陽光発電への転用、全体的には農地の貸し借りの農地利用が多い。

問 農業委員、農地利用最適化推進委員の3年

ごとの任期において、地域では該当者の推薦に苦慮している。来年の任期に向けて、なり手不足にどのような取り組んでいくのか。新たに農業委員、農地利用最適化推進委員

の活動にどのように支援していくか。

産業観光課長 昨今地域において人選に苦慮していることは認識している。7月の改選時に向け、早い段階から自治区に説明し選出をお願いしたい。農業委員会の定例会は毎月10日を基準に開催しており、日程等については各委員の状況を踏まえて会長と協議したい。



農業委員会
やまだ よしひこ
山田 善彦会長

大変有難い!!

推進委員は、今は3人で巡っているのが4人に増員されれば、カバーしあえるので大変有難いです。

問 今後、農業委員会の開催方法を平日の昼間でなく夜間も検討してはどうか。人選も含めて地域の負担を減らす取り組みを。

産業観光課長 役員会や会長と協議して検討したい。
町長 なり手不足の要因は、会議の頻度にあるので説明しながら取り組みたい。夜間は夜間で参加できないこともあるので協議したい。

町営住宅保証人廃止へ

かつらぎ町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

概要

民法改正により、町営住宅の入居者に対する保証人を廃止し、緊急連絡人に切り替える。保証人が確保できないことで入居できない事態をなくす。併せて、駐車場の使用料を1台目は無料とし2台目からは月額1000円とする。

不納欠損額に対して国は補助金などで対応すべきと考える。そのため県内の市町村に呼びかけ国へ働きかけては。

町長 公営住宅建設や維持などで国からの支援がある。今回の制度改正は自治体の中で進んでいないと理解している。保証人をなくすことで滞納に至るリスクが高くなることは否めない。この対応は自治体の努力となるが、全国的な動向を注視しながら対策を協議していく。

は、自家用車を敷地内に止めることができるので、整備する必要はない。

問 今回の条例制定によって、町への収入はどう変化するのか。

管財情報課長 年間251万5760円あった収入が、令和4年4月時点の試算では64万8000円に下がる。



町営住宅 笠田団地

問

公営住宅は低所得者の住居を確保するためのものであることを踏まえ、①保証人はどのような役割を果たしてきたのか。②住宅使用料の滞納状況と滞納における債権を放棄する不納欠損は。③現在の入居者に緊急連絡人制度の周知は。

管財情報課長

①家賃の債務保証と緊急時の連絡人。

②令和3年度末の滞納額3059万3635円、内訳は現年分146万9900円、繰り越し分2912万3735円。徴

収率は現年分95.52%過

年分3・77%。不納欠損は本人が行方不明や死亡、保証人に返済能力がない場合。過去10年間で平成26年3件402万4000円、令和2年6件484万4900円。

③町広報やホームページ、入居者には個別に案内する予定。

問

不納欠損額が880万円余りで、国の制度改正で保証人がなくなる中、滞納へのリスクを市町村が負うべきものか。例えば880万円余りの

問

保証人の廃止に時間がかかったのはなぜか。

管財情報課長

令和2年3月会議で廃止を提案されたが、近隣の状況も含め見合わせていた。2年経ったので県に確認すると、家賃収入が低下した事例はないということで、導入を判断した。

問

駐車場を確保してない他の町営住宅は今後どうなるのか。

管財情報課長

他の住宅



なかざわ こうじ
笠田東 中澤 浩二さん

ハードルが下がった
入居のハードルが下がったのはありがたいです。

個人情報とは 今後どうなる？

個人情報の保護に関する法律施行条例制定

概要

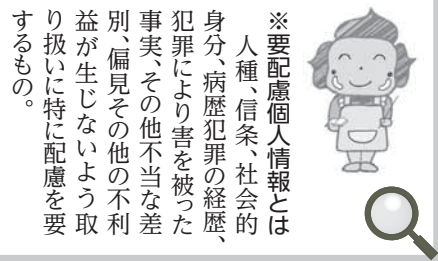
個人情報保護法は、個人情報の保護と利用の促進のため、法律によってルールを統一する。法改正によって、個人情報保護条例を廃止し「個人情報保護に関する法律施行条例」を制定した(賛成多数で可決)。条例制定に伴って、審議会による個人情報の開示の判断が国に移行する。
※要配慮個人情報の収集禁止から収集の制限がなくなり、法律の範囲で利用制限をかけることも、オンライン結合の禁止が取り除かれる。施行は令和5年4月1日。

問 なぜ手続きだけの法律施行条例となったのか。内容を全て法律に委ねるのは、地方自治体の条例制定権を侵すものではないか。

総務課長 法律に基づいて全国的なルールによって取り扱うことになった。町長 各自治体を作っていた個人情報保護条例には違いがあり、2000個問題だと言われている。医療情報や災害時の情報共有など、個人情報に壁になってきた。自治体の条例制定権を侵しているとは思わない。

問 条例では、要配慮個人情報の収集は禁止されていた。しかし法律によって収集が制限されなくなつたのはなぜか。

総務課長 法律によって利用目的を限定する。除外規定があるので、実質的には同じ。



※要配慮個人情報とは
人種、信条、社会的
身分、病歴犯罪の経歴、
犯罪により害を被った
事実、その他不当な差
別、偏見その他の不利
益が生じないよう取
り扱いに特に配慮を要
するもの。

討論

《反対》東之弘明議員
個人情報とは個人のも
の。国の個人情報保護
法と国の個人情報の取
り扱いは、個人情報保
護の名には値しない。
自治体は、個人情報保
護法の問題点を洗い出
し、改善を求める使命
がある。地方分権の精
神を發揮すべき。

賛否が分かれた議案(12月会議)

件名	議員名 結果	溝北	松岡	東芝	大原	浦中	新堀	藤本	中谷	羽根	滝ノ上	山下	表具	大山
		かつらぎ町個人情報の保護に関する法律施行条例制定	11対1で可決	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 溝北好一議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対

小中学校の特別支援学級教室を整備



特別支援学級に改修される教室(笠田小学校)

一般会計補正予算

議案の内容

令和5年4月から笠田小学校と笠田中学校で、自閉症・情緒障害特別支援学級がそれぞれ1学級増え、笠田中学校で肢体不自由特別支援学級を1学級新設する。

問 教員体制はどのようなのか。

教育長 3学級増えるので最低限で3人増える。

特別支援学級は、単数の学級と複数の学級によって教員の配置数が定数の関係で変わってくることから、教員体制は、3人が最低限度ということ、そこにプラスアルファになる。

問 教育支援委員会からの答申により教室などはハード事業で整備される。反面ソフト事業では県費教職員が3人プラスアルファとして増員される。町費で支援が必要なお子もたちの教育を支援するため、特別教育支援員を配置している。今後



階段昇降機が設置される階段(笠田中学校)

笠田小・中学校で特別教育支援員の配置をどのように検討しているのか。

教育長 町の財政措置により特別教育支援員を10〜11人配置している。今回、新設学級の対象となる生徒は、肢体不自由児ということ、肢体に障害がある生徒なので、いろいろと自立の援助や支援が必要と思うので検討したい。

問 支援を必要とする子どもが増えているので、

町費の特別教育支援員の増員は避けて通れない。現場の教育委員会より増員の声があれば、どのように対応するのか。

町長 最近の報道では全国的に8・8%となっており、増える傾向は否めない。子どもたちに必要な政策なので教育委員会の判断に対応したい。



笠田小学校
きむら
木村 ひとみ 校長

最大限に活用したい
整備いただいた環境を最大限に活用し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を充実させます。

地域おこし協力隊

起業支援の補助



養蜂に取り組んでいる天野の永田元氣さん（地域おこし協力隊員）

議案の内容

町内で起業する地域おこし協力隊員に対し、起業に伴う経費の補助を行う。上限金額は100万円で、今回の対象者は令和5年3月末で任期満了となる天野の地域おこし協力隊員。起業の内容は、はちみつ製造および販売。

問 地域おこし協力隊員の養蜂事業に対する補助事業は今年度限りなのか、それとも何年間補助するのか。養蜂事業に対して町としてどのように支援するのか。

産業観光課長 補助金の要綱では予算の範囲内とし、隊員1人につき1回と定めている。新たな特産品となるので町としては観光協会のホームページなどで広く周知していきたい。

問 花園地区の観光パンフレットは多くの人の協力で素晴らしいのができています。天野地区だけでなく河南地区としてさまざまな事業も含めて観光パンフレットを作成してはどうか。

産業観光課長 養蜂事業をさまざまなパンフレットなどでPRしていきたい。

ぜひ 議会傍聴を

議会だよりと本会議の映像配信で議会のことを伝えています。でも、議会傍聴が一番リアル。傍聴は、本会議と委員会の両方できます。本会議は予約なし、委員会は議会事務局に連絡してください。議員一同、お待ちしております。住民からの意見も募集中。議会は住民とのキャッチボールを求めています。

意見交換から課題も希望も

議員と自治区長の意見交換会



議員と自治区長の意見交換会で挨拶する山根木弘修自治区長会長

令和4年11月29日、かつらぎ総合文化会館で議会と自治区長会との意見交換会が開催された。今回は、「議員と自治区長の役割と連携」をテーマに、10〜12人で構成された3グループに分かれて意見交換をした。今回の特集では、出された意見をピックアップして紹介する。

出された意見の特徴

今後の懇談の深め方としては「地域のテーマを洗い出して議論を深めたい」という提案で話が盛り上がり「議員のいない区と議員との連携について仕組みをつくってほしい」という提案が行われた。

経験として、議員と具体的に区長が連携している事例、女性に選挙の投票管理者や立会人を担ってもらっているという事例、区民の提案を受けて、区費の減額を検討している事例、人口減少の中で分区分区による役員体制の見直しの事例などが語られた。

しかし、区長の活動上の悩みも深く、町内会に入ってもらいにくいことや、民生委員や交通指導員など、なり手を探す苦労が語られた。

区長には悩みがあるものの、ある区長は「『〇〇さんのとき、良かったよ』と言ってもらうと思っただけで満足しています」と言われた。熱気ある発言を通じて、区長の使命感が伝わってきた。



議会だよりキャラクター「かきあちゃん」

共通テーマで
ディスカッション
したい

笠田中自治区長
やまねきひろのぶ
山根木弘修



高齢化の問題や空き家の問題は、山間部でも街中でも共通しています。共通した各自治区の問題点を洗い出し、最大公約数的なテーマを作って、議会と自治区長会とがディスカッションしていくと、よりよいまちづくりの方向性につながると思っています。

議員は自治区
と自治区の調
整役として

議長
みぞきた こういち
溝北 好一



「町内に置いてある消防ホースや防災倉庫の道具は、町内会や自治区の費用で賄っています。町内会に入ってもらいたい」という話をしてもらっていました。



東茨田自治区長
たにざわ まさひさ
谷澤 正久

議員がいない地区が多くなっている。私は茨田ですが議員は誰もいない。困っても相談する議員はいません。こういう機会なので、議員のいない地区の窓口になってくれる議員を決められないかと思えます。そうすれば、相談にのってもらいやすい心強いです。

議員のいない
自治区にも
議員の力を

女性の力を引
き出し生き生
きた地域を

新城自治区長
なかまえ てるお
中前 光雄



選挙の投票立会人を3期前から女性がしています。最初はなかなか「うん」と言ってくれなかったんです。ところが、今言ったら「いいよ」と言ってくれます。前に出てくれやすくなりました。スムーズにみんな参加し始めたと思っています。

テーマを絞り
込み継続的な
議論を

今日みたいの3つのグループにそれぞれテーマを分け、関係する区長と議員に入ってもらえれば、中身の濃い話ができると思います。

副議長
まつおか ひろゆき
松岡 宏行



次회가
楽しみな
意見交換会

共通のテーマを洗い出して、意見交換会を重ねるとまちづくりの課題が具体的に見えてくる。議員のいない自治区にどう関わっていくかは大きな課題であり、議員の意見をまとめ、さらに区長会とキャッチボールが必要だと思われる。活動上のヒントも出され、区長の仕事の分担や女性の参加でも知恵が出てきた。

消費税

インボイス制度の実施中止・延期を 求める意見書 全員賛成で可決

「国に対し『適格請求書保存方式（インボイス制度）の実施中止を求める意見書』の提出を求める請願」が9月会議に提出され、総務産業常任委員会でも審査していた。12月7日、委員会は請願を採択。議員提案で意見書を本会議に提出。本会議において、全員賛成で請願を採択、意見書を可決した。

時間をかけ丁寧に委員会で審議

委員会は、今回初めて参考人制度を活用し、請願人に出席を求め、1時間半の質疑を行った。この中でフリーランスの人や免税業者が、*インボイス制度によって取引から外される可能性があるのを確認した。

また、地方自治体の会計の中にもインボイスに対応すべき会計があることが確認され、日を改めて町当局との質疑を実施した。

その結果、一般会計とシビックセンター特別会計、水道事業・下水道事業会計の4会計でインボイス対応が必要であることが判明した。

委員会では、制度は理解できるものの、円安、物価高の状況下でインボイスを実施すると、深刻な事態が広がることを確認され、請願を採択した。意見書は、全委員の賛成で本会議に提出することとなった。

国に提出した意見書

ロシアによるウクライナ侵略、異常気象や円安によって、燃油・資材・食料など物価高騰が続いている。インボイス制度を導入すれば、複雑な経理業務に対応できない業者が多数生まれ、地域経済に大打撃を与える危険がある。

国の税制によって中小企業や自営業者をつぶすことがあってはならない。インボイス制度の実施中止・延期を強く要望する。
(一部抜粋)

*インボイス制度とは適格請求書に基づいて消費税の納税業者であることを証明し、納税を確実に推進しようとするもの。実施は令和5年10月1日。税務署が認めた登録番号が請求書等に記載されていないと、業者は仕入税額控除を受けられない。



対応は大変
手作業で帳簿を付けるのでインボイス対応は大変です。納めた消費税が防衛費にも使われるのは腹が立ちます。



もりおか ゆりこ
下天野 森岡 由利子さん

一般質問

町民のおもいを届ける60分



中阪町長

一般質問は、町政に関する提案や質問を行うもので、持ち時間は1人60分。
記事は質問者が作成したものである。



写真はコロナ対策のため、パーティション越しに撮影している。

ページ	質問事項	質問議員
18	公共施設は景観に配慮した構造物に	滝ノ上万記
19	伴走型子育て支援に何が必要か	大山 希世
20	子育て支援のため小規模園を	松岡 宏行
21	生ごみ袋の一定量無料配布を	藤本 憲一
22	町長が考える農業振興施策とは	中谷 雅美
23	緩やかな協定を結ぶべき	東芝 弘明
24	西部公園トイレ何らかの対策を	新堀 行雄



公共施設は景観に配慮した構造物に

教育次長 景観については 今後も十分配慮していく



滝ノ上万記 議員



問 現在「ゆずり葉」として使用されている元天野小学校の校舎は、1995年天野小学校新校舎として竣工したが、わずか18年後の2013年に閉校となった。その建て替えにかかった費用は約3億円。このほか、元三谷小学校は校舎の建て替え後10年で閉校となり、元四邑小学校においても、わずか13年で閉校になった。廃校となった校舎のいくつかは、その役割を変え現在も利用されているが全てではない。また、20年も経たない間に閉鎖してしまう校舎のようないくつかの大型公共施設が、かつらぎ町のような人

口・財政規模の小さい町に、多数存在することは大変な痛手である。今後は、町内において箱モノを建築する際にはこのような事を繰り返してはならない。また、かつらぎ町は、白洲^{すまご}正子の随筆にもある天野地区をはじめ、特に山間部においては自然の景観が大変素晴らしい地域が多い。そのような地区に大型公共



元志賀小学校

物を建築する際は、周辺の景観になじむような建物を建てるべきであると考えるが、町としての考えは。
教育次長 一般的な公共施設建築計画の留意点は、主には構造や色彩、立地および規模が挙げられる。中でも校舎の建築にあたっては、地元の要望や将来の児童生徒数、文部科学省より示されている施設

整備指針など、さまざまな要素を総合的に判断して実施している。指針では、地域の生涯学習や、まちづくりの核としての機能を整備するよう掲げられている。他の文教施設との連携や災害時における避難所としての役割を果たすこと、景観や町

並みの形成に貢献できる施設として計画することが求められている。本町としても指摘の観点については、今後も十分配慮していきたいと考える。

正職員採用の問題点は

問 就職活動の現状は、新卒者の売り手市場であるため、本町の職員採用においても、優秀な人材の確保が困難になってきていると思われるが。
総務課長 申込者数が少ないため、採用の周知が不足していると感じている。

か。
総務課長 近隣の市に比べると申込者数が少ない現状から、周知が不足していると感じている。現在は県内の高校、大学等を訪問しているが、今後は訪問先を近隣府県の学校などに拡大し、本町を知ってもらうことが大切だと考える。

問 町職員の採用活動における問題点は、何があると感じている

伴走型子育て支援に何が必要か

町長 町ができる事を整理し法改正の必要あれば国県へも働きかける



大山希世 議員



問 本町の子育て支援のひとつ学校給食無償化事業について。国が定める塩分量等の基準を満たす工夫は。
教育総務課長 一例として味噌汁はカツオ、サバ、煮干しで出汁を取り、具材は野菜や芋類等多様な食材を組み合わせ、化学調味料に頼りすぎないように努めている。

問 廃棄を少なくする取り組みの内容は。
教育長 喫食者の考えを踏まえつつ献立を改善し、より良き給食を作ることは不可欠であり、残食の多い副菜は複数の野菜を組み合わせたり、ハムやツナ、ジャコを取り入れ、彩り、食感、味の変化を工夫している。

問 放課後等デイサービスの対象者と利用状況について。
住民福祉課長 放課後等デイサービスとは児童福祉法に基づき障害の確定しない、気になる段階から利用できるサービス。通所決定者数は平成29年度末22人。伊都橋本圏域の障害児通所支援施設の今年度卒園生は全体で37人と増加傾向。うち23人が利用希望しているが、若干定員を超えている。伊都橋本地域自立支援協議会で定員増について事業者と受入調整を行っている。



イメージ写真

問 放課後事業は保護者の就労を支えるサービス。それ以上に放課後時間は子どもたちの心や経験を育む貴重な時間と考える。町の考えは。
町長 さらに子育てしやすい町を考えれば、全ての子どもを対象に十分に受け入れ可能になる取り組みと同時に法などの改正が必要なのは国や県に働きかける。

まとめ 発達に課題のある子どもを持つ保護者の気持ちとして、子どもの特性ゆえに短時間であっても周りの人に預かってもらうことをためらう。今後は協議会とさらに連携して研究・検討してほしい。

子育て支援のため小規模園を

町長 検討しなければならない



松岡宏行 議員



問 町内には一部を除いて就学前保育は200人を超えることも園が2園。大規模園、小規模園のメリット、デメリットは。

教育総務課長 大規模園は職員も多く、行事もにぎやか。小規模園は異年齢で関わり、機動性が高い。

問 全国的に課題や支援が必要な子どもが増えている。本町の就学前保育は一部を除いて大規模園しか選択できない。子どもや保護者の状況により小規模園も選択できるように整備しては。

教育長 量的、質的、多様化への課題がある

中、小規模施設の必要性を感じている。

問 就学前保育を充実させるには、こども園などの指定管理者「かつらぎ福祉社」と定期的に懇談しては。
町長 毎年開催すべきと考えるが、コロナ禍で開催できなかった。今後状況を見ながら考えたい。



佐野こども園で遊ぶ子ども

問 就学前保育を充実して、さらに転入児を増やすために保育士の加配と小規模園の設置を。

町長 支援を必要とする子どもや、大規模園になじめない子どもなどさまざまな対応を考えると、小規模園を検討しなければならぬ。今後、議員提案の子育て世代への支援をより一層取り組みたい。

子育て施策の一元化で 住民サービスの向上を

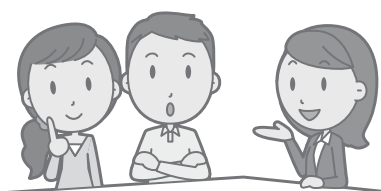
問 転入してきた4人家族は母親が妊娠中、2歳児はこども園希望、8歳児は学童保育希望、住民福祉課で転入後の手続きは。

住民福祉課長 健康推進課で社会保障制度、環境課でごみ関係、庁舎西側の保健福祉センターで妊婦健診、庁舎南側のかつらぎ総合文化会館の教育総務課でこども園・学童保育。

問 転入者はさまざま。まな部署を回らなくてはならない。全国の市町村は住民サービスの向上のためさまざま取り組んでいる。箕面市は教育と福祉の融合を目指して、子ども関連を教育委員会に一元化してサービス向上に取り組んでいる。本町でも。

副町長 子育て支援施策の一元化は、子育て世帯には有意義な取り組み。職員配置や業務量を精査して検討したい。

町長 乳幼児から青少年期まで一貫した行政は理想的。現時点ではマンパワーに課題がある。今後自治体DXによるデジタル化、窓口業務の改善、また一元化への先進事例を参考にしながら検討したい。



生ごみ袋の一定量無料配布を

町長 すべきではない



藤本 憲一 議員



問 9月にコロナ対策として、生ごみ袋を無料配布した。町民からも「すごく良かった」という声を聴いている。住民アンケートでは、きまってプラ・ペット袋は無料なのに生ごみ袋は無料でないとの意見がある。資源用ごみ袋無料配布の目的は、資源循環を促進させ、分別により処分ごみを減らして経費削減を図るためである。平成21年からエコーイフ紀北でのごみ処理が始まった。当初のごみ量と比較すると、プラ・ペットの資源ごみは変わらず、焼却ごみは増える傾向にある。分別のマンネリ化とい



ごみ削減には分別強化が一番

うか限界を感じる。そこで、分別の強化を推進する方法として、一定量無料配布を提案する。1年間の平均使用枚数の3分の2程度の無料配布を行い、分別を強化する。袋の値段は当然値上げし、配布内に収めてもらうことで分別意識が高まると思

うが。
環境課長 無料配布は、いたずらにごみ排出量を増やすことにつながる。懸念されるため、慎重に判断する必要がある。
町長 ごみ袋の手数料等収入とごみ処理費用との差し引きは、約2億5000万円の赤字である。一生懸命分別した人もしない人も無料袋を使うとしたら、

無料配布に要する額がそのままごみの減量に生きてくるのか疑問である。無料配布すれば、税金で賄う部分が増えることから税への負

担の公平性を壊してしまふ。ごみ袋の無料配布はすべきではない。

おむつ使用世帯への無料配布

問 分別推進は必要だが、幼児用・介護用のおむつは分別できない。昔は、あまりなかった紙おむつだが、最近は大半の家庭で使用している。一定量無料配布できないか。

環境課長 幼児世帯へのおむつ用ごみ袋無料配布については、家計

負担軽減等を図る目的で、ごみ袋（小）の無料配布を現在検討中。また、介護世帯についても同様に現在検討中である。



町長が考える農業振興施策とは

町長 農地を集積し組織を立ち上げ 若者の雇用を



中谷 雅美 議員



問 本町の農業振興について、将来の人と農地の懇談会ではどのような意見があったのか。

産業観光課長 河北地域は11月17日、河南地域は18日に開催され、テーマとして①「これからの農業を続けていく中で感じている不安や問題」。②「地域の方針」。③「方針を実現するためには」の3つで、多岐にわたる貴重なたくさんさんの意見があった。

問 現下、農地農業を取り巻く環境を、世界的に見ると気候変動やロシアのウクライナ侵攻等により食料に限

らず肥料、飼料、燃料などさまざまな物価が上昇する中で、日本の食料安全保障が脅かされ、食料自給率は令和3年度で38%、和歌山県は直近の令和2年度カロリーベースで27%。本町は。

問 本町の農業を取り巻く課題としては、担い手不足や耕作放棄地など、多くの課題があると思うが今後どのような対策を。

問 本町の荒廃農地は令和3年度決算の実績報告と平成29年度では5年で20%増加、また、農業者は2020年農林業センサスと2015年では6%の減少となっている。このような本町の農業の現状についてどのような認識か。

産業観光課長 現状は、農業従事者が少ないこと、耕作放棄地の増加、また鳥獣害被害などがあり、非常に厳しい状況である。

今後の農業を考えたときに、高齢化・人手不足、耕作放棄地という深刻な課題・問題がある。若い人の一部で農業をしたいと考えて取り組む人もいるが、初期投資のリスクを負ってまでという考え方の人が多い。実際若い人の意見を聞くと、サラリーマンの雇用形式であればと言う人もいるので、今後想定される農業を取り巻く人材不足を補うため、特に中山間を中心とした地域では、集落で農地をまとめて、集落営農組織や法人を立ち上げ、若い人を雇用しながら、取り組んでいける仕組みをつくる必要がある。

その他 副町長の任務と役割について、町内各地の太陽光発電への転換、クビアカツヤカミキリムシについての対策他を質問した。



町内各地で散見される耕作放棄地（元柿畑）



緩やかな協定を結ぶべき

町長 協議書を交わす準備をしている



東芝弘明 議員



問 本町と企業との間にどのような確認があったのか。

産業観光課長 株式会社アキモノナと株式会社アキアイグニスの社長からの話で口頭だった。
町長 進出に当たって関係する会社と相談するのが一般的。

問 両社の役員会で確認はされているのか。
町長 少なくとも代表取締役の立場の人が進出することを表明している。

問 2億2488万2000円という予算を組んだが中身は口頭だけでいいのか。
町長 用地取得が確定

しない時点では、具体的な協定は交わせない。大半を取得できる見込みが立ってはじめて協議ができる。

問 緩やかな協定を結び、予算を組むのが本筋。町が用地を買収するのは令和6年9月以降、農業振興地域整備計画の変更申請と農地転用に国の許可が必

要になる。用地買収が遅れると3年以上かかる。地権者の会の協力なしにはうまくいかないが。
産業観光課長 地権者に説明会を開き、現在は個別交渉の段階。地権者同士の反発にならないよう対応したい。

問 造成と建物の建築は、一体どの会社が



笠田中ほ場地の現況

行うのか。

町長 両社が特別目的会社を設立し、事業主体となると聞いている。三重県のアキアイグニスやヴィソンでは、全体の建設は目的会社が行い、店舗のレイアウト

トは事業者が行っている。建築物は一定基準の安全が確保される。現在、協議書を交わすための準備協議をしている。

高齢者サロンの改善を

問 サロンとは何か。

健康推進課長 高齢者サロンの基本は、高齢者の閉じこもりの防止、茶話会などによる居場所づくりであり、介護予防はお願いベース。

問 課長は特別会計にも責任を負っている。

介護予防の推進がサロンにも現れている。「千客万来」という考え方に発展すべき。

町長 不特定多数の人を受け入れる考え方は重要。福祉的なアプローチで行う高齢者に対する施策と、生涯学習的な考え方でやる施策とは当然違っている。健康推進課がやると介護予防などに行きがち。今後その辺のことも含め、検討していく。

町長 もっと親しみやすい言葉に替えることは大事。

西部公園トイレ何らかの対策を

町長 クラブハウスを管理棟として開館



新堀 行雄 議員



問 令和4年10月に全面芝生の多目的広場とパークゴルフ場南18ホールがオープンした。北エリアの整備が残っているが今後の計画は、**建設課長** 令和5年度の完成を目指して進めている。遊歩道、管理用倉庫、トイレ、駐車場、芝生広場などを整備する予定だ。

問 かつらぎ西部公園にはトイレは何カ所、どこにあるのか。**生涯学習課長** クラブハウス、パークゴルフ場北コース、南コースにある。

建設課長 現在3カ所である。北エリア整備に伴い1カ所設置する。

問 パークゴルフ場の休場日は月曜となっている。トイレは使用できるのか。**生涯学習課長** 休場日は利用できない。道の駅のトイレを利用してもらっている。

問 トイレは3カ所しかなく、パークゴルフ場が開場している時しか利用できない。何らかの対策が必要では。**町長** 北エリアの整備が令和5年度に完成を予定している。令和6年度からクラブハウスを管理棟として運営し、休場日も開館していく計画である。北エリアに新設するトイレと合わせて2カ所のトイレが利用可能となる。



西部公園眺望

問 西部公園に大型遊具を設置してほしいとの要望がある。周辺市町と話し合っていくとのことだったがその後どうなったのか。**町長** 西部公園は紀の

川流域下水道伊都浄化センターの周辺整備事業として、橋本市、九度山町、かつらぎ町の1市2町で整備してい

る。遊具の設置については他の市町と粘り強く交渉していく。

子ども議会のさらなる発展を

問 本町では中学生を対象とした子ども議会が行われている。子ども議会の目的は。**教育総務課長** まちづくりについての夢や希望を語る機会をつくること。議会の仕組みや選挙制度への関心を高め、社会の形成者として資質や能力を育むことを目的としている。

問 取り入れられるところは取り入れ子ども議会を発展させていくべきでは。**町長** 子ども議会は自分たちの考えていることを議会に届けようという一体感を持ちまじづくりに参画するということである。先進事例を参考にしながら子ども議会を発展させていきたい。

問 山形県遊佐町のよつに中学生から高校生までには。**教育長** 中学生の素朴な視点からの発想、考えに加え、高校生のより有権者に近い視点からの意見等も得るもの

町民の声を議会運営に反映するため、議会モニター制度を実施している。提出された感想等レポートの一部を抜粋し掲載する。

令和4年度

議会モニターの声



本会議

議長・副議長の選挙など4年に一度しか味わえない日の議会傍聴はラッキーでした。

自己紹介もあり議員さんを知る良い機会でした。自己紹介の時名前だけでなく、住所も聞かせてほしかった。議員さん所在のバランス状況に関心をもってました。

(70代女性)

新議員さんには初心(志)を忘れず、旧議員さんには、あらたな気持ちで初心に戻って町の為に心も体も傾けて下さります様お願いします。私たちを取りまく社会は、急速に変化し、多種多様化、複雑化、深刻化しています。そう云う状況の中で、今こそ議員さんの力が求められています。もちろん、私たち町民一人ひとりも生活課題に向け努力し、協調し、理解し合うことが必要です。

(70代女性)

議会だより編集特別委員会

傍聴全体を通して、内容・役割・取材から印刷まで編集作業には中々ご苦労がありがとわかりました。こうして出来上がった記事は貴重です。私達は熟読し、考え、理解し、町政に声を出し「議会だより」を意義ある存在に出来たらいいなあと思いました。

(70代女性)



広報広聴特別委員会の様子

映像配信を視聴して



面文字の上欄の表示について、もう少し太いはっきりした文字に改善できないかご検討いただければ有難いです。

(70代男性)

議会運営委員会

「かつらぎ町民の福祉と幸福の実現」を図る為に、厳しい自覚をもって職務上の責任を果たすべきだと捉えました。

(70代男性)

議会だよりを読んで

(94号の掲載記事)

今月号の桃の表紙大変よかったです。これからは、地域で本当に頑張っている人の姿も掲載していただければと思います。

(70代男性)

「表紙」から「桃」からかつらぎ町の季節が伝わってきました。

(70代女性)

総務産業常任委員会

町内の水道施設を視察

10月7日、11月22日、
12月7日委員会を開催。

町内の水道施設（上水道2カ所、簡易水道8カ所、町管理の飲料水供給施設3カ所）のうち8カ所の施設を見学した。視察の目的は、安心安全



水道施設の視察状況

な水道水供給の工程を見学して、維持管理の適切な業務遂行を体験することにより、危機管理の重要性を学ぶことである。初めて施設を見学する委員がほとんどであり、各施設の構造の違いや、毎日の点検業務の苦労がよく分かったとの意見があった。また、一元管理システムの画面を見て現場へ行かずとも異常個所が分かるとの説明で、専門職員の必要性を改めて認識した。

請願第1号は採択

本委員会に付託された請願第1号「国に対し『適格請求書保存方式（インボイス制度）の実施中止を求める意見書』の提出を求める請願」について採決を行い、賛成多数で採択した。これを受けて、本会議に意見書案を全員賛成で提出することとなった。

厚生文教常任委員会

子どもに関する

所管事務調査を計画

10月21日、11月24日、
12月8日委員会を開催。

所管課である住民福祉課、環境課、健康推進課、教育総務課、生涯学習課の事業勉強会を行った。

主な内容は、各担当課の令和4年度主要施策を中心に説

明を受け、質疑を行い、事業内容を確認した。

今後、中学校への授業見学および給食体験、こども園、放課後等デイサービスなど現場の状況も踏まえ、子どもに関する所管事務調査を進めることになった。



三谷こども園の子どもたち

広報広聴特別委員会

懇談会を通じて
町政や議会に関心を

10月24日、11月18日、
12月9日委員会を開催。

主な内容は、自治区長やJA紀北かわかみとの意見交換会、議会モニターとの懇談会についてなど。

自治区長との意見交換会に先立ち、総務課から自治区や区長の役割など説明を受けた。自治区長との意見交換会は11月29日に行うこととなり、当日は自治区長23人、議員13人、事務局6人の参加により実施した。詳細は14、15ページに掲載する。

議会モニターから寄せられた意見の編集を行った。またJA紀北かわかみとの意見交換会や議会モニターとの懇談会についても話し合った。



議員と自治区長との意見交換会

議会運営委員会

議会個人情報保護条例
の制定に向けて

11月2日、29日委員会を開催。

個人情報保護法が、国会や地方議会を法律の対象から外したので、議会は、条例に根拠を置く個人情報保護条例の制定を令和5年4月1日までに整えることになり、委員会は調査、研究を開始した。



表紙写真紹介



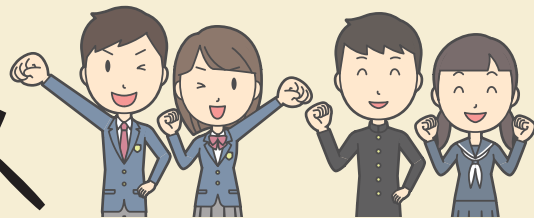
笠田万葉サークルが作成発行し、初めてのカルタ大会を開催。主催者は毎年大会をできれば嬉しいと思っている。

〈郷土カルタの問い合わせ〉
電話0736-22-2661(岡田)



紹介

がんばる人



これからの「かつらぎ町」を担うのは君だ!

次世代シリーズ「がんばる人」は、スポーツや文化活動などでがんばっている子どもたちを紹介します。学校の中だけでなく、民間や地域団体、個人でがんばっているのもOKです。

- ①今、頑張っていること
- ②始めたきっかけ
- ③将来の夢
- ④かつらぎ町の好きなおところ

- ①全国中学校ソフトテニス大会に向けてテニスを頑張っています。
- ②友だちがテニスにさそってくれたからです。
- ③日本代表になって活躍することです。
- ④フルーツが多くておいしい町です。

笠田小学校6年
おばなしゆり
尾鼻 珠吏さん



妙寺小学校6年
いけだ ちと
池田 千桃さん



- ①ひいおじいちゃんの畑作業を手伝うことです。
- ②お父さんに手伝いをお願いされたことです。
- ③子どもを楽しませられる保育士になりたいです。
- ④一人一人が優しく接してくれることです。

笠田中学校3年
うらはた れな
浦畑 玲奈さん



- ①読書の魅力をいろんな人に伝えることです。
- ②ビブリオバトルで本の紹介をしたことです。
- ③いろいろな方々のためになる仕事に就きたいです。
- ④地域の方が優しく安心して過ごせるところです。

